

UPDF、G2「Fall 2026 Report」でLeaderに選出

12のG2バッジを獲得し、実用的な文書プラットフォームとしての成長を示す

Suprace Software Technologyが開発するオールインワンPDFエディター「[UPDF](#)」は、G2の「Fall 2026 Report」においてLeaderに選出されました。今回は、製品の成長性、導入のしやすさ、企業規模別・地域別の評価を含む計12のバッジを獲得しました。



ユーザー体験を基盤とした評価

G2のレポートは、確認済みソフトウェアユーザーのレビューと市場データに基づいています。Leaderへの選出は、UPDFが個人から組織まで利用できる実用的なPDFプラットフォームとして成長していることを示すものです。使いやすさ、安定したパフォーマンス、日常の文書業務に役立つ価値が重要な要素となっています。

文書業務全体を一つの環境で完結

UPDFは、PDFの編集、注釈、変換、OCR、ページ整理、文書保護、フォーム入力、電子署名を一つの環境で提供します。確認、修正、整理、保護、完成までの工程で複数のソフトを切り替える手間を抑えられます。Windows、Mac、iOS、Androidに対応し、デスクトップとモバイルをまたいだ作業も可能です。

日常・学習・ビジネスでの幅広い活用

個人利用では、書類の編集、整理、保護、署名を一つの環境で行えます。学生や教員は、教材への注釈、重要箇所のハイライト、OCR、AIによる要約や解説を活用できます。ビジネスでは、

文書の修正、スキャン資料の処理、署名の追加、長いレポートからの重要情報抽出などに役立ちます。

幅広い企業規模と地域での認知

獲得した12のバッジは、Leader、Momentum Leader、Most Implementable、Leader — Europe、Leader — EMEA、Leader — Latin America、Leader — Small Business、Leader — Small Business Europe、Leader — Small Business EMEA、High Performer — Canada、High Performer — Enterprise、High Performer — Mid-Marketです。これらは、UPDFが多様な企業規模と地域で認知されていることを示します。

今後もPDF体験の改善を継続

Suprace Software Technologyは、今回の評価を重要な節目として受け止めています。今後も、使いやすさ、セキュリティ、導入体験、マルチデバイスでの一貫性、AIを活用した文書処理を改善し、世界中のユーザーの文書業務をよりシンプルで効率的にしていきます。

UPDFについて

UPDFは、Suprace Software Technologyが開発したオールインワンPDFエディターです。文書の閲覧・編集・変換・注釈・OCRに加え、AI機能を統合し、世界中のユーザーの文書ワークフローをよりシンプルかつ効率的にすることを目的として設計されています。

Windows、Mac、iOS、Androidに対応し、マルチデバイス環境でもシームレスに利用可能です。最新バージョンでは、自律型AIエージェントを搭載し、よりスマートで直感的な文書体験を提供します。

<公式サイト・各種SNS>

公式サイト: <https://updf.com/jp/>

YouTube: <https://www.youtube.com/@UPDFJapan>

X(旧Twitter): https://x.com/updf_jp